

# 大雨や台風による

# 災害に備えて



▲平成14年7月に発生した阿武隈川の洪水状況(油井高架橋付近)。現在は築堤が整備されたため、このような洪水に見舞われる心配は少なくなった。

## 土砂災害の種類

**崖崩れ** 雨水がしみ込んで、やわらかくなった斜面が急激に崩れ落ちる。日本で最も多い土砂災害で、人家の近くでも突然起こる。

**【前触れ現象】**▶崖からの水が濁る▶地下水や湧き水が止まる▶斜面のひび割れ・変形がある▶小石が落ちてくる▶崖から音がする など。

**土石流** 長雨や集中豪雨などで、山腹や溪流の石や土砂が一気に下流へ押し流される。強大な威力と圧倒的なスピードで、進行方向にあるものをのみ込み壊滅させる。

**【前触れ現象】**▶山鳴りがする▶雨が降り続けているのに川の水位が下がる▶川の流れが濁り、流木がまざり始める▶腐った土の臭いがする▶木の裂ける音や大きな石が流れる音がする など。

**地すべり** ぜい弱な地質の土地に豪雨が降り、緩くなった斜面の一部がゆっくり下方へ移動する。家屋や道路など広範囲に被害を与える。

**【前触れ現象】**▶地面にひび割れができる▶井戸や沢の水が濁る▶家や樹木、電柱などが傾く▶崖や斜面から水が噴き出す▶風がないときに、木の枝先がこすれ合う音がする など。

日本の国土は、地形、地質、気象等の面で極めて厳しい条件下にあり、地震や台風、集中豪雨等の自然災害に対しては、ぜい弱な国土といわざるを得ません。そういった条件下に住む私たちだからこそ、災害への備えが必要となります。

二本松市内で起きた大雨による災害で記憶に新しいのが、平成25年8月に起きた局地的大雨(ゲリラ豪雨)による災害です。この災害では、特に岩代地域で床上浸水や土砂災害、橋の崩落などの甚大な被害もたらされました。

また、平成14年7月に発生した記録的な豪雨と大洪水も忘れることはできませんが、この災害の再発防止を目指して始まった阿武隈川の平成の大改修も、平成28年に無事完成し、市民生活の安全・安心に大きく寄与しています。

7月から9月にかけては、梅雨前線や台風、秋雨前線などの影響で、大雨が降る可能性が非常に高い時期となります。災害はいつ起こるか分かりません。今月号の広報では、いざというときに備え、私たちができることを再度確認していきます。

大雨や台風が接近してくるとき、皆さんはテレビのニュース番組などで気象情報をチェックすると思います。しかしテレビでは、一定の時間枠内でしか放送されません。自分の知りたいときに、自分が住む地域だけの情報を知りたいと思ったことはありませんか？

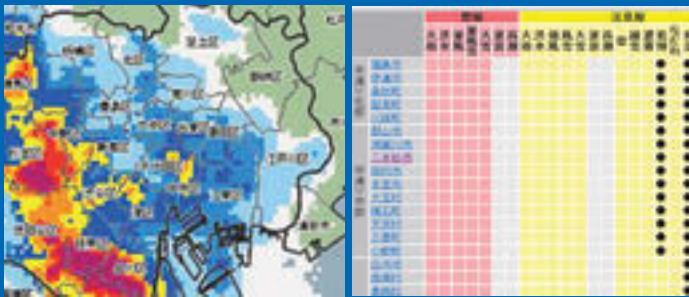
ここでは、そのような方の要望に応えられるさまざまな情報源を紹介します。上手に活用し、災害が起きたときの心構えを万全にしておきましょう。



## 知っつく情報



### 福島地方気象台ホームページの活用



気象庁(福島地方気象台)では、天気予報や現在の降水状況、台風情報、地震情報など、あらゆる気象情報をホームページで公開しています。全国に約1,300カ所ある気象観測所(アメダス)や、宇宙で地球の周りを巡回している気象衛星などから、あらゆる情報を随時収集し公表しており、公共施設を管理する市職員も、大雨や台風の時期などに大いに活用しています。

### 雨の強さと降り方

1時間の雨量(mm)	10以上 ～ 20未満	20以上 ～ 30未満	30以上 ～ 50未満	50以上 ～ 80未満	80以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声が良く聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気が付く			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる		水しぶきで辺り一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗車時	-	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、ブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	
災害発生状況	長く続くときは注意が必要	側溝や下水、小川があふれ、小規模の崖崩れが始まる	山崩れや崖崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要	マンホールから水が噴出する。土石流など多くの災害が発生	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、嚴重な警戒が必要



<http://www.jma.go.jp/jma/kids/index.html>  
(気象庁HPより)

◀「どういった雲のときに、どういった雨が降りやすいか」や、「雨が降るメカニズム」など、子どもに教えてあげたい内容が掲載されたサイトです。

## 早めの情報収集を心掛けましょう

最新の気象情報や災害情報を知る手段として、次のようなものがあります。有効に活用してください。

### テレビで

まずはNHK総合テレビチャンネルを表示し、リモコンの「dボタン」を押します。その後「防災・生活情報」にカーソルを合わせ「決定」ボタンを押すと、二本松市の災害情報が表示されます。

### 携帯電話・スマートフォンで

#### ①緊急速報メール(エリアメール)

地震の際のエリアメールと同じで、携帯電話事業者が無料で提供するサービス。二本松市からの避難準備情報や避難勧告などの情報が市全域の携帯電話に一斉配信されるメールです。

#### ②緊急情報メール配信サービス

市内で災害などが発生したときに、あらかじめ登録されたメールアドレスに災害情報や道路通行止め情報などがメール配信されます。登録方法など詳しくは、市ウェブサイトをご覧ください。

### 防災ラジオで

今年度末に、二本松市に住民登録のある希望世帯に防災ラジオを配付します。これにより、市内の災害情報や避難情報などを瞬時に聞くことができます。

**希望調査票をまだ提出していない方は、早めに提出してください**(詳細は広報にほんまつ6月号9ページに掲載)。

※事業所へ防災ラジオを設置希望の方は、生活環境課☎(55)5102へご相談ください。

### 屋外拡声子局(拡声スピーカー)で

現在の岩代・東和地区に加えて、二本松・安達地区においても来年度に整備を予定しています。

### 防災マップで

二本松市には、大雨による浸水想定区域や土砂災害警戒区域を示した防災マップがあります。このマップは市ウェブサイトにも掲載していますので、ご自分の住む地域を確認ください。

## 気象庁のホームページで 大雨・洪水警報の危険度が 一目で分かるようになります

気象庁では7月上旬より、大雨による浸水害や洪水の「危険度分布図」をホームページ上で公開する予定です。これは、災害が起きそうな地域を1キロ四方に細分化した上で、危険度が5段階で色分けされて分かりやすくなり、10分ごとに更新されていますのでご利用ください。



災害が起きたとき、人は平常心ではいられません。そのような状況の中、慌てて避難所を探したり、持ち出し品を準備したりするということは、とても大変なことです。いつ起こるか分からない災害に備え、事前にチェックや準備をしておくことが大切です。特に非常時持ち出し品などは、置き場所を家族全員で確認しておくなど、情報を共有しておくことが大切です。

## 災害時指定避難所




洪水や土砂崩壊などの大規模な災害が発生または発生する恐れがある場合、下表に記載のあるお近くの指定避難所へ、落ちていて避難してください。

No	施設名
1	二本松南小学校
2	二本松北小学校
3	塩沢小学校
4	岳下小学校
5	安達太良小学校
6	原瀬小学校
7	杉田小学校
8	石井小学校
9	大平小学校
10	二本松第一中学校
11	二本松第二中学校
12	二本松第三中学校
13	安達高等学校
14	二本松工業高等学校
15	塩沢住民センター
16	岳下住民センター
17	杉田住民センター
18	石井住民センター
19	大平住民センター
20	市民交流センター
21	安達ヶ原ふるさと村
22	油井小学校
23	渋川小学校
24	川崎小学校
25	安達中学校
26	安達公民館
27	渋川住民センター
28	上川崎住民センター
29	下川崎住民センター
30	安達体育館
31	小浜小学校
32	新殿小学校
33	旭小学校
34	小浜中学校
35	岩代中学校
36	安達東高等学校
37	岩代公民館
38	新殿住民センター
39	旭住民センター
40	東和小学校
41	東和中学校
42	東和文化センター
43	木幡住民センター
44	太田住民センター
45	戸沢住民センター
46	ウディハウスとうわ
47	東和第一体育館

## 非常時持ち出し品

避難しなければならないとき、最初に持ち出すのが『非常時持ち出し品』です。家族全員で置き場所を確認しておき、誰でも持ち出せるようにしておきましょう。(以下はチェックリストです。)

<p><b>食料品等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 飲料水</li> <li><input type="checkbox"/> 乾パンやクラッカーなど</li> <li><input type="checkbox"/> レトルト食品、缶詰</li> <li><input type="checkbox"/> 粉ミルク、哺乳ビンなど</li> </ul> <p><b>日用品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り</li> <li><input type="checkbox"/> 鍋や水筒</li> <li><input type="checkbox"/> 懐中電灯</li> <li><input type="checkbox"/> ラジオ</li> <li><input type="checkbox"/> 電池</li> <li><input type="checkbox"/> ロープ</li> <li><input type="checkbox"/> マッチやライター</li> <li><input type="checkbox"/> 使い捨てのカイロ</li> <li><input type="checkbox"/> ティッシュなど</li> <li><input type="checkbox"/> 筆記用具</li> <li><input type="checkbox"/> ごみ袋</li> </ul>	<p><b>医薬品等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 救急医薬品</li> <li><input type="checkbox"/> 常備薬</li> <li><input type="checkbox"/> マスク</li> <li><input type="checkbox"/> 紙おむつ</li> <li><input type="checkbox"/> 生理用品</li> </ul> <p><b>貴重品、お金</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 現金(小銭も)</li> <li><input type="checkbox"/> 預金通帳など</li> <li><input type="checkbox"/> 印鑑</li> <li><input type="checkbox"/> 健康保険証など</li> <li><input type="checkbox"/> 身分証明書</li> </ul> <p><b>衣服</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 下着</li> <li><input type="checkbox"/> タオル</li> <li><input type="checkbox"/> 寝袋</li> <li><input type="checkbox"/> 雨具</li> <li><input type="checkbox"/> 軍手</li> <li><input type="checkbox"/> 靴</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 防災頭巾やヘルメット</li> <li><input type="checkbox"/> 予備の眼鏡</li> <li><input type="checkbox"/> 地図</li> </ul>
--	--



## 土砂災害危険箇所

福島県では、大雨や地震のときなどに土砂災害による被害の恐れがある場所を、県のホームページ上で誰でも閲覧できるようにしています。※掲載されている場所以外でも、土砂災害の発生する可能性があります。

福島県 河川流域 総合情報システム

表示内容

- はんばい貯水水位以上
- 水防団待機水位以上
- 水防団待機水位未満
- 崩落
- ダム
- カメラ
- ・土砂災害警戒情報
  - 大規模警戒+土砂災害警戒情報
  - 大規模警戒
  - 大規模注意
- 基準値超過状況
  - 県道で土砂災害警戒区域の基準値超過
  - 市道で土砂災害警戒区域の基準値超過
  - 県道以外で土砂災害警戒区域の基準値超過
- ・危険箇所情報
  - 土石流危険箇所
  - 急傾斜危険箇所
  - 地すべり危険箇所
- ・1 Kmメッシュ情報表示
  - メッシュ情報表示

いずれかに✓(チェック)を入れると、その該当する危険箇所が地図上に表示されます。

▲『福島県河川流域総合情報システム』で検索すると、上記の画面が開きます。  
(<http://kaseninf.pref.fukushima.jp/gis/>)



いざ避難勧告や避難指示が発令されたとき、避難をするときの注意点をご存知でしょうか？

自分の身を守ることはもちろん大事ですが、単独行動をとることが、かえって危険な場合もあります。

次に記載する避難時の注意点などを頭にいれておき、焦らず速やかに避難できるようにしておきましょう。

## 避難するときの注意点

### 隣 近所に声を掛けて 複数で避難しましょう

一人で避難すると、事故に遭ったとき非常に危険です。隣近所に声を掛け、複数で避難しましょう。

また日頃から隣近所とコミュニケーションを図り、行政区の行事などにも積極的に取り組みましょう。



### 要 配慮者の避難に 協力しましょう

要配慮者(高齢者や障がい者、乳幼児など避難が困難な方)が早めに避難できるよう、近所の皆さんは避難に協力しましょう。

高齢者や病気の方々には、日頃から気配りが必要です。



### 危 険な場所は避けて 避難しましょう

崖や堤防などを通るのは危険です。遠回りでも、より安全な道を選びましょう。



### 2 階への避難が安全な 場合もあります

浸水時や夜間などは、避難場所へ移動(水平避難)することがかえって危険な場合があります。

災害が切迫した状況では、自宅の2階や近くのより安全な建物の高い階などへ避難(垂直避難)しましょう。



「備えあれば憂いなし」。災害はいつ起こるか分かりません。本格的な雨のシーズンを前に、もう一度「備え」のチェックをしておきましょう。

「備えあれば憂いなし」。災害はいつ起こるか分かりません。本格的な雨のシーズンを前に、もう一度「備え」のチェックをしておきましょう。

今年度の広報では、自ら情報収集をして備えをしておく「自助」の部分を中心に紹介しました。それは、災害が発生したとき、まず自分が無事であることが最も重要であるからです。

近年、地域のコミュニティが少しずつ薄れていくなかで、『共助』の重要性が増してきています。災害が起きたとき、他の人を気に掛けるということとは、なかなかできることではありません。しかし、今回ご紹介した自助の部分であらじめしっかりとチェックしておけば、有事の際もおのずと心に余裕ができ、相手に優しい言葉を掛けることができるのだと思います。

「備えあれば憂いなし」

## 洪水時の避難方法

### ☑ブレーカーを落とす

漏電による火災を防止するため、ブレーカーは必ず落としてから避難。

### ☑安全な服装で

ヘルメットをかぶり頭を保護し、ひもで締められる運動靴を履いて避難。

### ☑ロープでつながる

はぐれないように、お互いの体をロープで結び、特に子どもからは目を離さないようにする。

### ☑歩ける深さ

水深が50cmを上回る(膝上まで)場所での避難は危険。流れが速いと20cm程度でも歩けないことがあるため、無理せず高所で救助を待つ。

### ☑子どもや高齢者を救護

高齢者や病人などは背負って避難させ、幼児は浮き袋やベビーバスなどを利用して、安全確保をする。

### ☑足元に注意

長い棒をつえ代わりにして、水中の安全を確認しながら歩く。

## 避難勧告等の名称が 4月から一部変更されています

高齢者等の避難に時間を要する方に対して、避難を開始する段階であることを明確にするため、「避難準備情報」が「避難準備・高齢者等避難開始」に変更されています(詳細は広報にほんまつ6月号8ページに掲載)。